

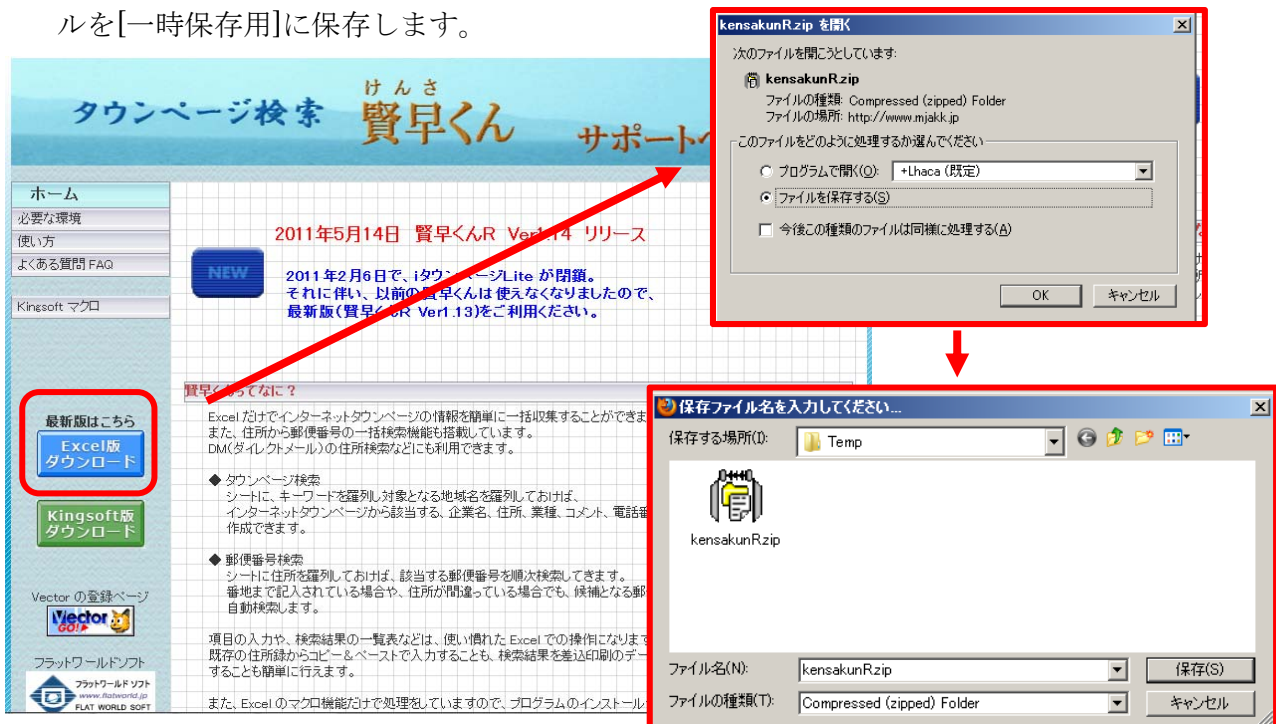
## V. ポイントデータをマップ化する

### (1) フリーソフト「賢早くん」を使って住所データを作成する

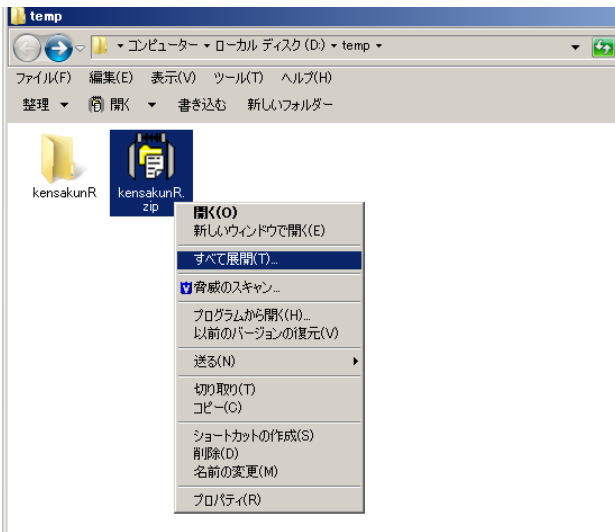
1) Web ブラウザで「賢早くん」を検索、[賢早くんサポートページ]を開くか、または次の URL のページを開きます。( <http://www.mjakk.jp/kensakun/> )



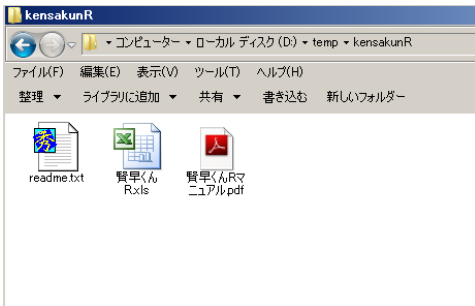
2) 開いたページの[Excel 版ダウンロード]をクリック。ファイル名はそのままにして、zip ファイルを[一時保存用]に保存します。



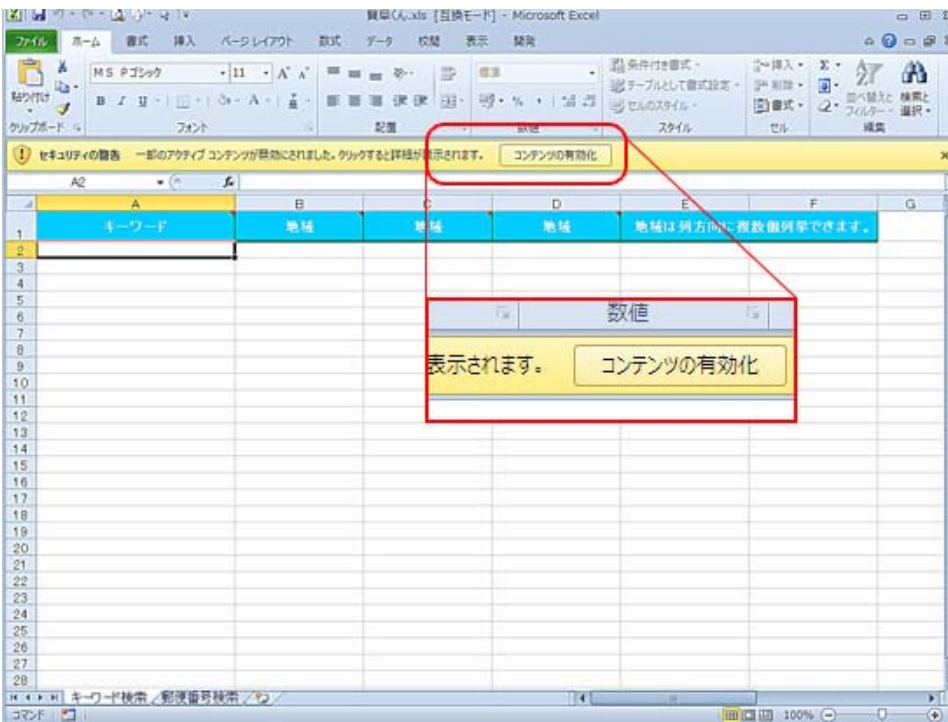
3) [一時保存用 Temp]にダウンロードされているか確認し、ファイル上で右クリック、[すべて展開]をクリックし、ファイルを解凍します。



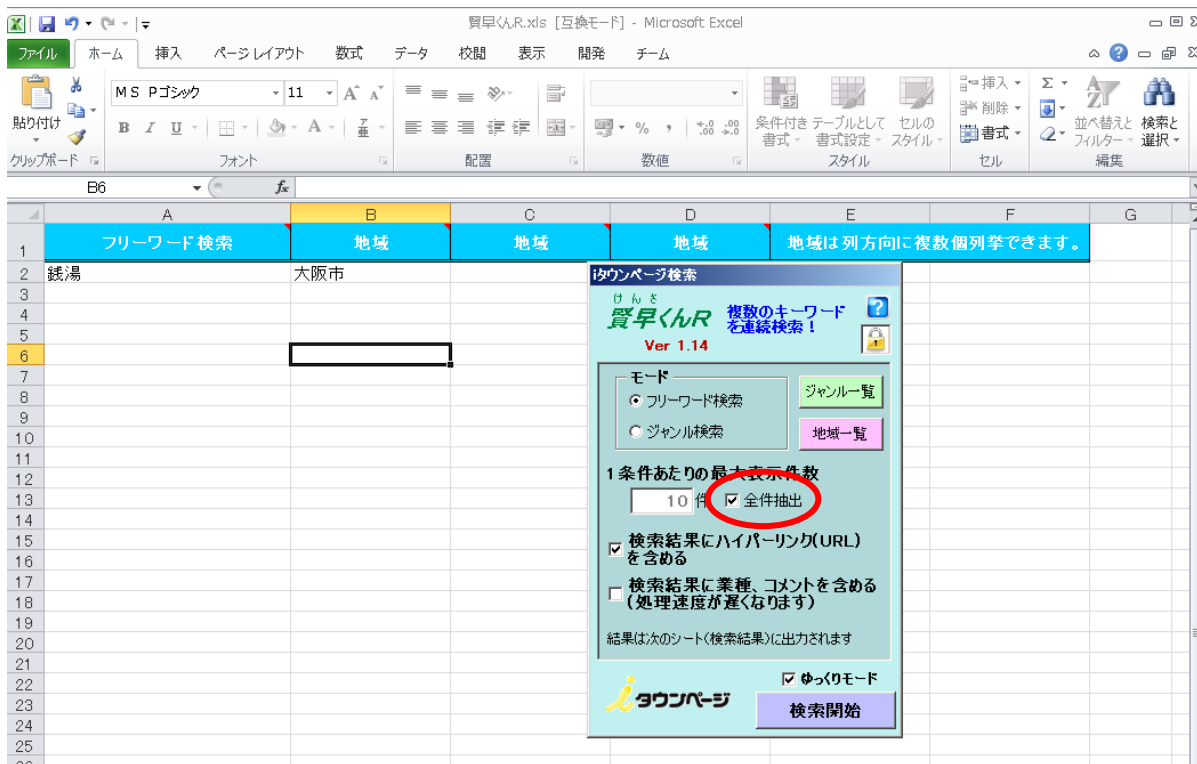
4) [kensakunR]のフォルダ内、[賢早くん R.xls]ファイルをダブルクリックします。



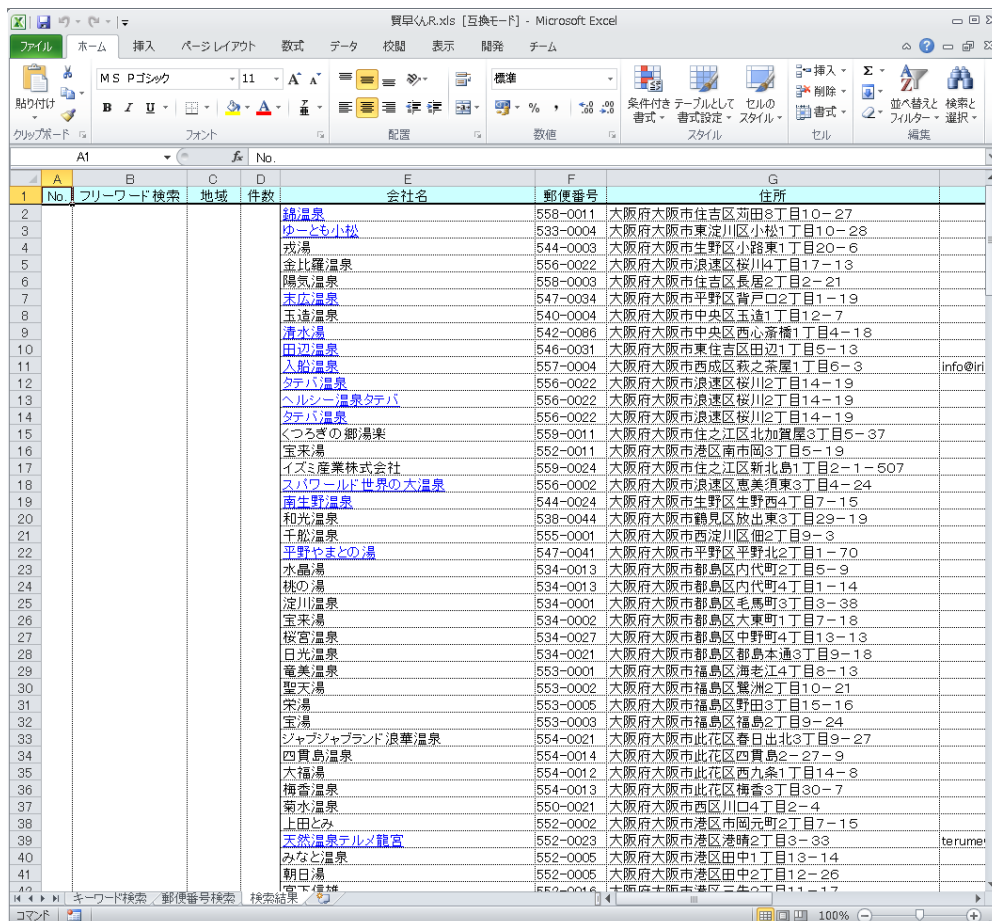
5) [賢早くん R.xls]を立ちあげると、ツールバーの中に下記のようなメッセージが表示されるので、[コンテンツの有効化]をクリックします。



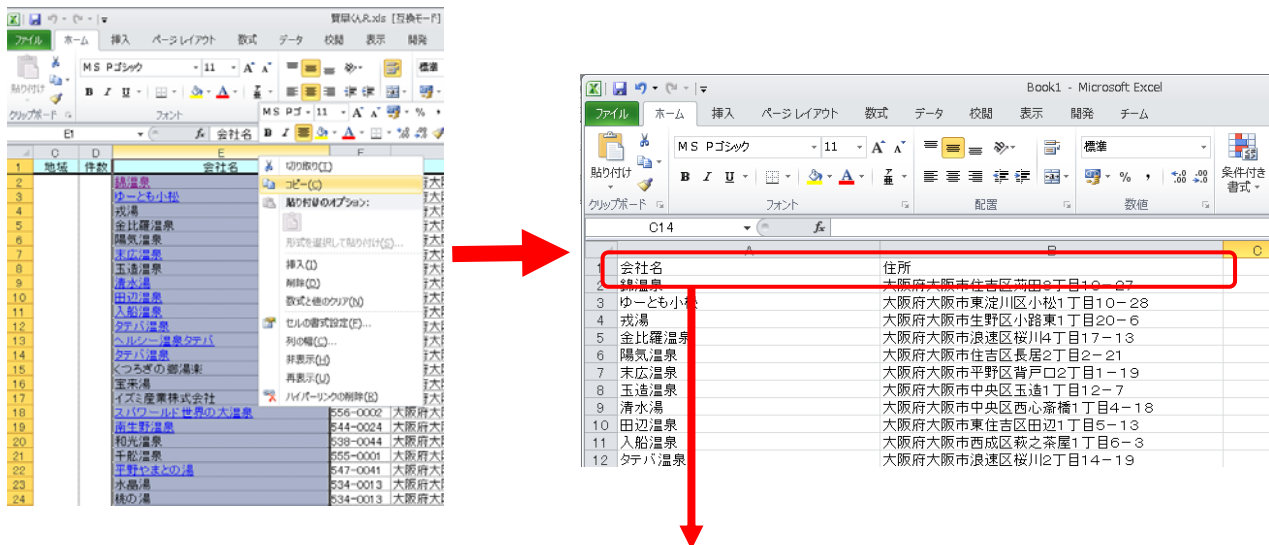
6)住所を検索します。例として、[フリーワード検索]には「銭湯」、[地域]に「大阪市」と入力。  
[全件抽出]にチェックを入れ、[検索開始]をクリックします。



7)次のように大阪市内の銭湯の住所が検索されます。



8)新たに Excel を立ち上げ、賢早くんの[会社]列を選択、コピーし、新しいワークシートに貼り付けます。[住所]列も同様にし、新たなワークシートを作成します。



次にワークシートの A1 の[会社名]を「name」に変更し、B1 の[住所]を「address」に変更します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	name	address					
2	錦温泉	大阪府大阪市住吉区苅田8丁目10-27					
3	ゆーども小松	大阪府大阪市東淀川区小松1丁目10-28					
4	戎湯	大阪府大阪市生野区小路東1丁目20-6					
5	金比羅温泉	大阪府大阪市浪速区桜川4丁目17-13					
6	陽気温泉	大阪府大阪市住吉区长居2丁目2-21					

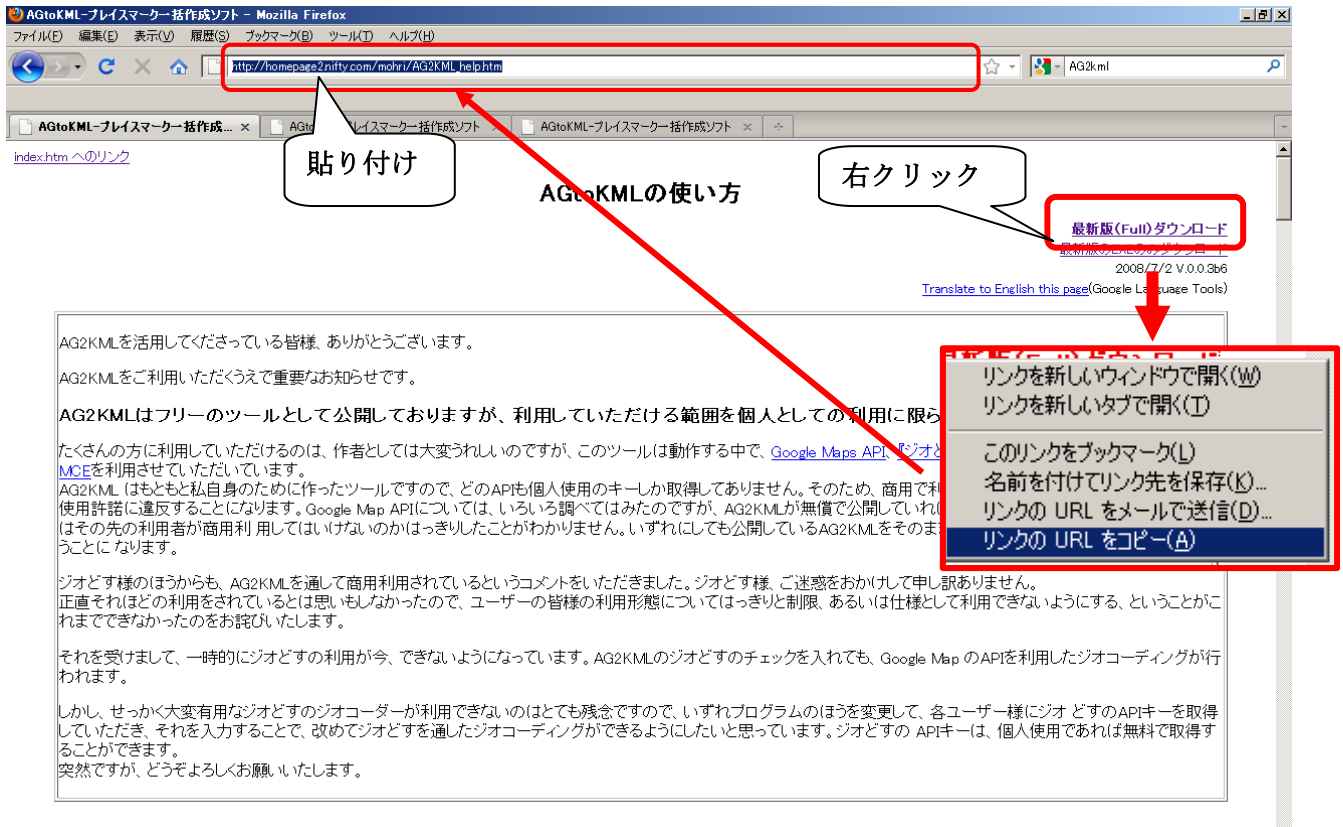
変更を確認し、[ファイル]→[名前を付けて保存]→[Excel ブック]で一時保存用に「銭湯」と名前を付けて保存します。次の作業に必要なため、[CSV (カンマ区切り)]でも保存します。その際、注意の表示が2度出るが、[OK]をクリックでよいです。[賢早くん]を閉じる場合は念のため上書き保存をしておきます。

## (2) 検索した銭湯の住所をアドレスマッチング(住所を経緯度に変換)する

1) Web ブラウザーに「AG2kml」で検索し、[AGtoKML-プレスマーカー一括ソフト]のサイトを開きます ([http://homepage2.nifty.com/mohri/AG2KML\\_help.htm](http://homepage2.nifty.com/mohri/AG2KML_help.htm))。

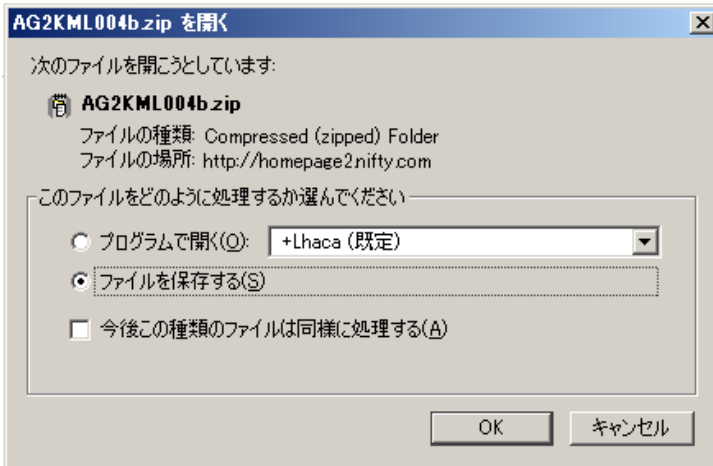


2) ページの右上にある[最新版(Full)ダウンロード]のリンクをクリックすると、旧バージョンのダウンロードになります。そこで最新版のリンク上で右クリック→[リンクの URL をコピーする]を選択し、貼り付けます。



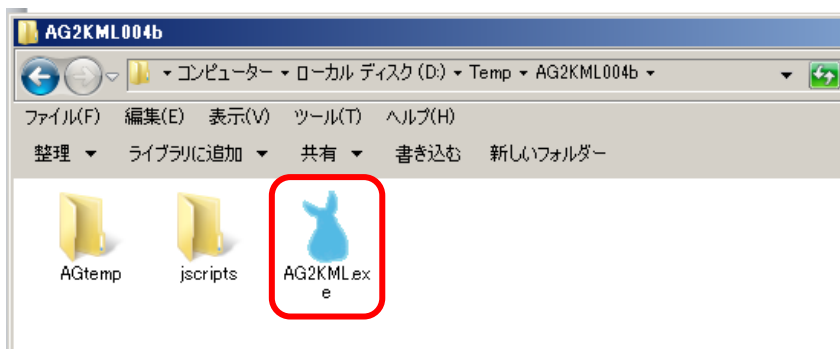
3)[<http://homepage2.nifty.com/mohri/app/AG2KML003b6.zip>]と表示されるので、**[AG2KML003b6]**の部分を「**AG2KML004b**」に変更します。確認して、[Enter]を押すと次のような画面が出ます。

ファイル名が**[AG2KML004b.zip]**であることを確認し、[ファイルを保存する]にチェック、[OK] をクリックし、[一時保存 (Temp) ]に保存します。



4)一時保存用に zip ファイルが保存してあることを確認、右クリック→[すべて展開]→展開する場所が[D:¥temp¥AG2KML004b]であることを確認し、[展開]をクリックします。

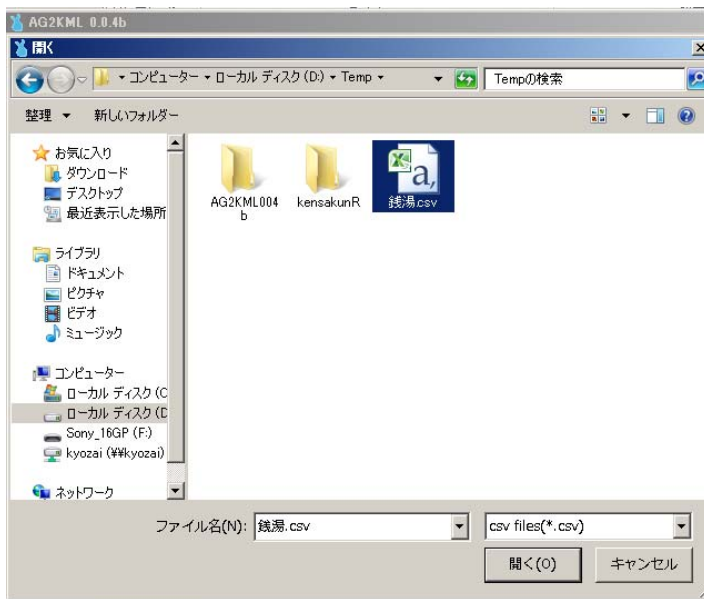
5)[AG2KML004b]フォルダ内に次のようにファイルがあるか確認し、[AG2KML.exe]のアイコンをダブルクリック。[このソフトウェアを実行しますか?]&表示されるので、[実行] をクリックします。



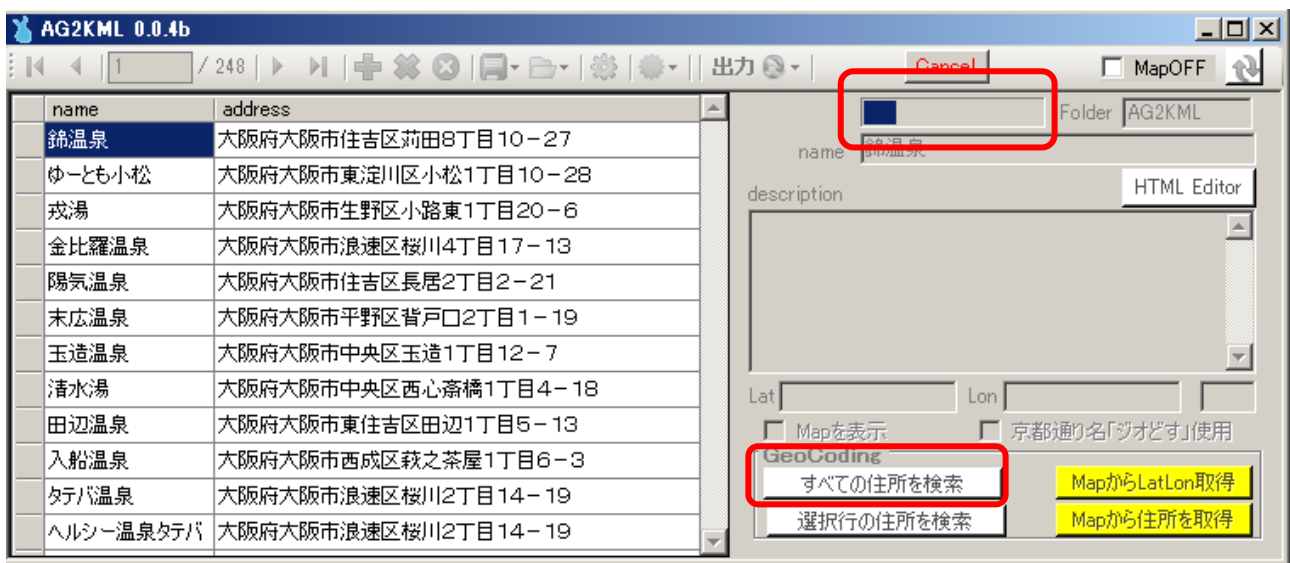
6)起動したことを確認。フォルダのアイコンをクリックすると、[aml ファイルを開く][CSV ファイルを開く]と表示されるので、[CSV ファイルを開く]を選択します。



[コンピューター]→[ローカルディスク (D:)]→[Temp]から前行程で保存した[銭湯.csv]を選択し、[開く]をクリックします。



7) 下図のように表示されたことを確認し、右下[すべての住所を検索]をクリック、右上にゲージが現れるので、終了するまで待ちます。



8) 検索が終わると、右下[Mapを表示]にチェックを入れます。Mapが現れるので、対象のポイントまで拡大してみます。例えば、[name]の[錦温泉]を選択し、ある程度拡大していくと、「錦温泉」の表示が地図上で確認でき、このポイントは正しく地図上に落とされていることがわかります。

The screenshot shows the AG2KML 0.0.4b application window. On the left, a table lists hot springs with columns for 'name' and 'address'. The 'Nishikoi Hot Spring' (錦温泉) is selected. On the right, a details panel shows the selected item's name, description, and coordinates. A red box highlights the 'Mapを表示' checkbox, which is checked. Below the map, a red box highlights the navigation controls (directional arrows and zoom in/out buttons). A callout bubble explains these controls.

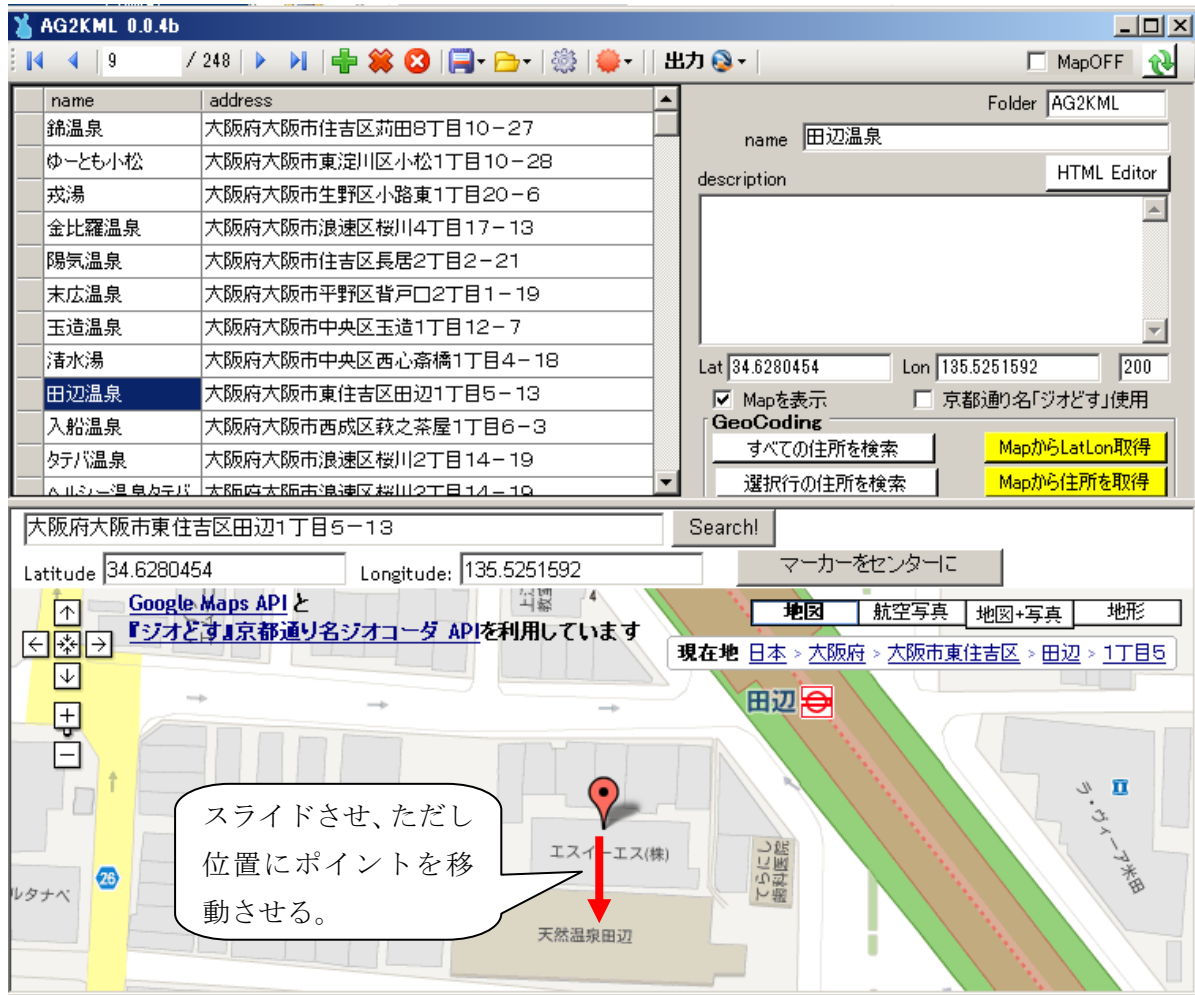
name	address
錦温泉	大阪府大阪市住吉区苅田8丁目10-27
ゆーとも小松	大阪府大阪市東淀川区小松1丁目10-28
戎湯	大阪府大阪市生野区小路東1丁目20-6
金比羅温泉	大阪府大阪市浪速区桜川4丁目17-13
陽気温泉	大阪府大阪市住吉区長居2丁目2-21
末広温泉	大阪府大阪市平野区背戸口2丁目1-19
玉造温泉	大阪府大阪市中央区玉造1丁目12-7
清水湯	大阪府大阪市中央区西心斎橋1丁目4-18
田辺温泉	大阪府大阪市東住吉区田辺1丁目5-13
入船温泉	大阪府大阪市西成区菟之茶屋1丁目6-3
夕テバ温泉	大阪府大阪市浪速区桜川2丁目14-19
ハルシマ温泉タテバ	大阪府大阪市浪速区桜川2丁目14-19


Map details: name: 錦温泉, description: HTML Editor, Lat: 34.5973296, Lon: 135.5198154, 200.  Mapを表示,  京都通り名「ジオどす」使用. Buttons: 全ての住所を検索, MapからLatLon取得, 選択行の住所を検索, Mapから住所を取得.

Map navigation controls: 上 (up), 下 (down), 左 (left), 右 (right), + (zoom in), - (zoom out). Callout: 上の十字カーソルで移動、+で縮尺を統制できる。基本操作はGoogleマップと同じ。



ただし、すべてのポイントが正確に落とされているとは限らないので、チェックをします。例えば、「田辺温泉」を選択すると、地図と比べて少しずれていることがわかります。表示されているポイントにカーソルを合わせ、クリックを押したままでスライドさせ動かすことができます。正しい位置に置き、右の[Map から LatLon 取得]をクリックすると正しい座標を登録することができます。

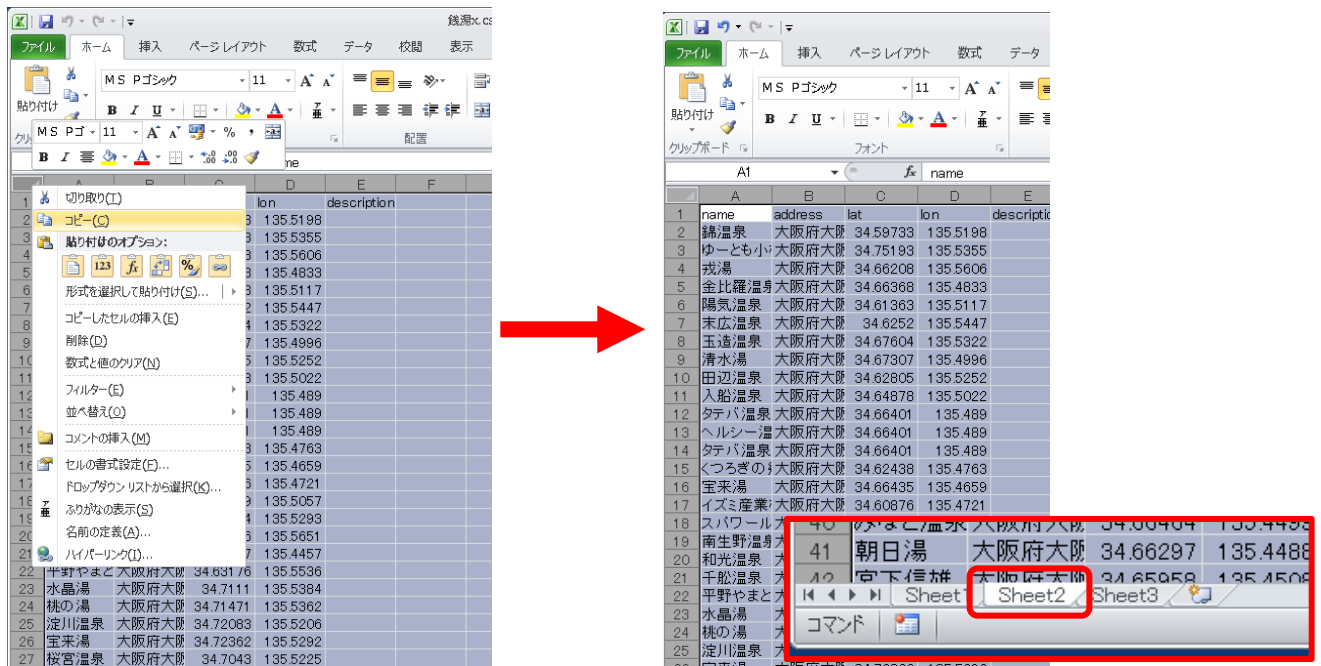


9)取得した座標を保存する。  保存のアイコンをクリックし、[CSVで保存]を選択、[一時保存用]→[Temp] に (例：ファイル名「銭湯 x」) と入力し、[保存]をクリックします。

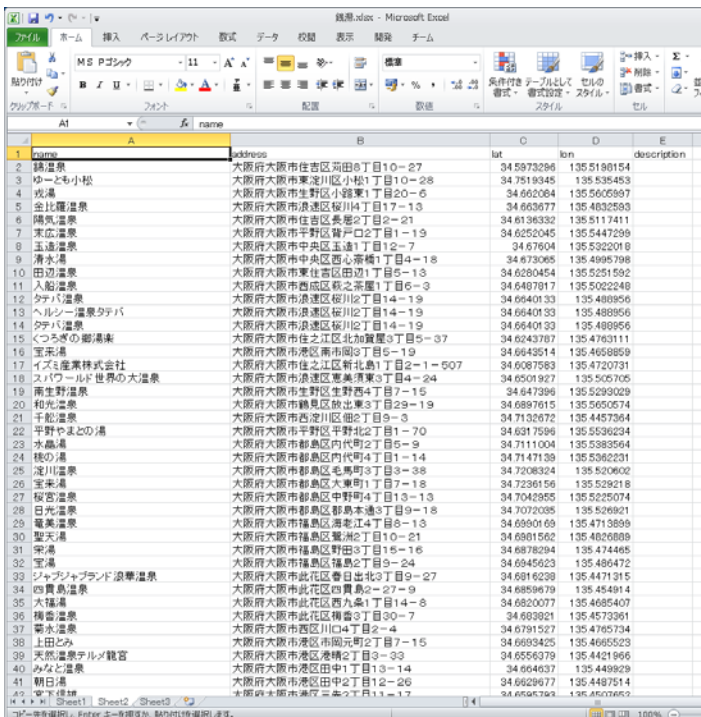
10) [Temp]に[銭湯 x.csv] が保存されているか確認し、ファイルを開き、座標が入力されているか確認します。次にカーソルをシート1の左隅に合わせ、クリックすることで、全体を選択し、[右クリック]→[コピー]を選択します。

前工程で保存した[銭湯.xlsx]を一時保存用から開き、[Sheet2]に貼り付けます。シート内が全選択されている状態のまま、列Aと列Bの間の線にカーソルをあわせ、カーソルが矢印マークになるので、ダブルクリックをし、列を揃えます。

※このとき列を揃えておかないと、次の工程で正しく読み取ることができない場合があります。



列を揃えたか確認し、上書き保存し、開いている[銭湯 x.csv]と[銭湯.xlsx]を閉じます。

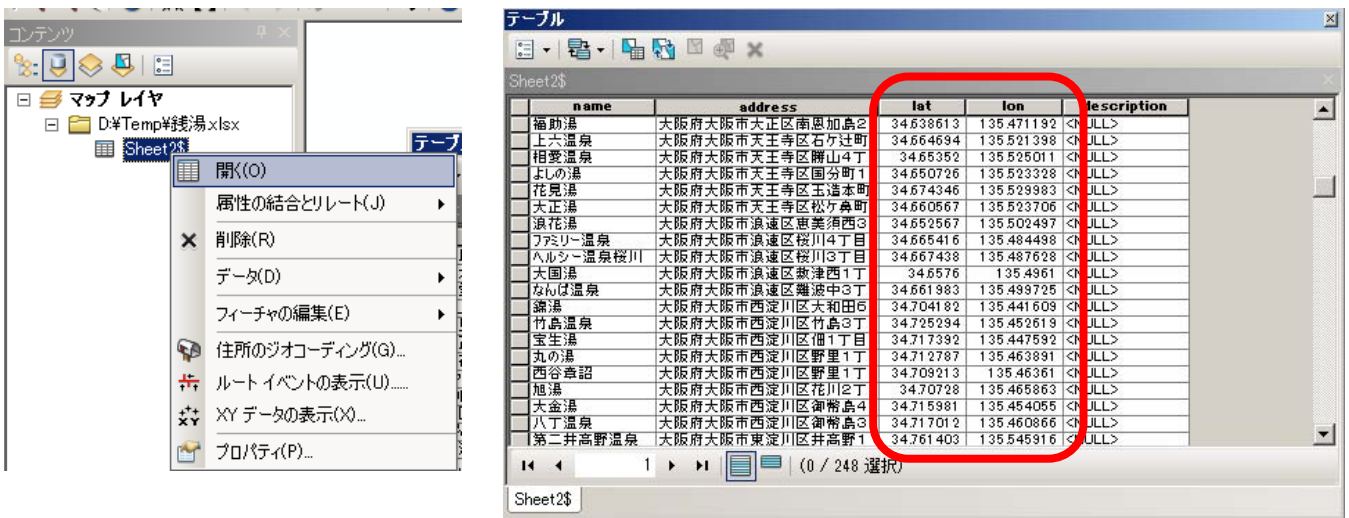


### (3) 「ArcMap」で座標をポイントデータとして表示し、さらに Google Earth™ に表示する

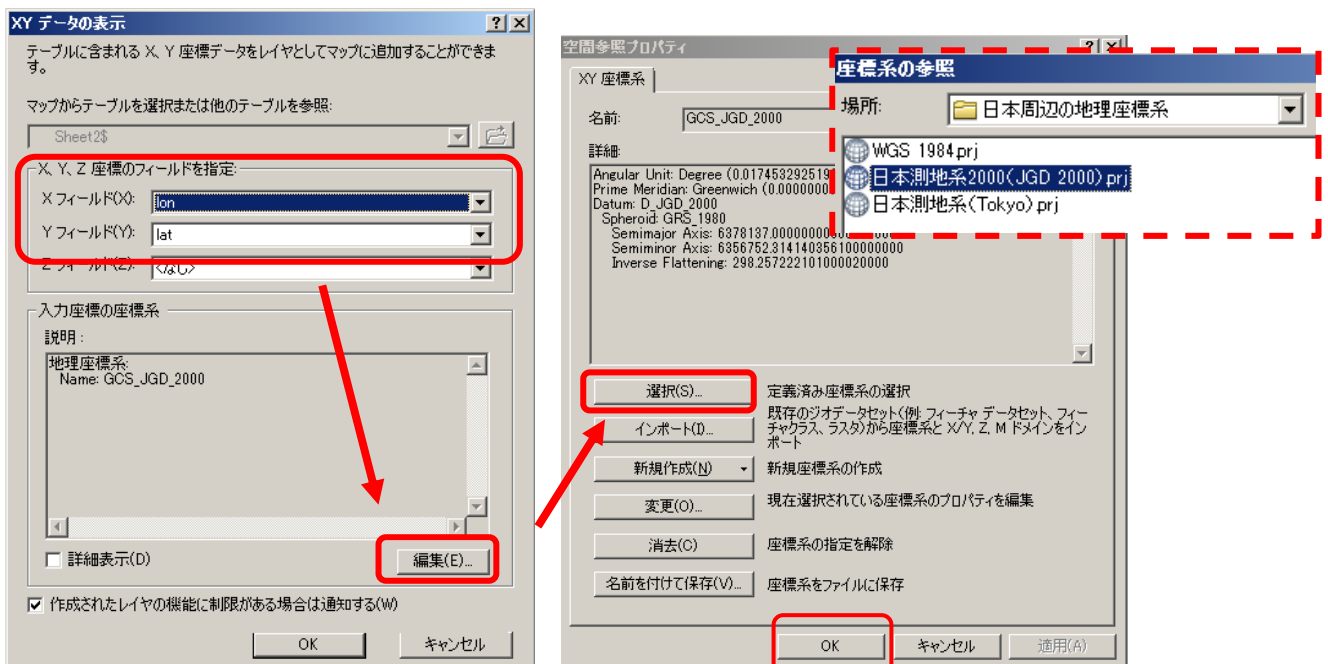
1) [スタート]→[すべてのプログラム]→[ArcGIS]→[ ArcMap10]を起動します。

2) [データの追加] をクリック、[フォルダに接続] をクリック、  
[コンピュータ]→[ローカルディスク (D:)]→[Temp] を選択し、[OK]をクリックします。  
[銭湯.xlsx]をダブルクリック、[Sheet2\$]を選択し、[追加]をクリックします。

3) マップレイヤにデータが追加されたか確認し、[Sheet2\$]上で右クリック、[開く]を選択します。  
データテーブルが開くので、[lat] [lon]の数字が正しく表示されているか確認します。

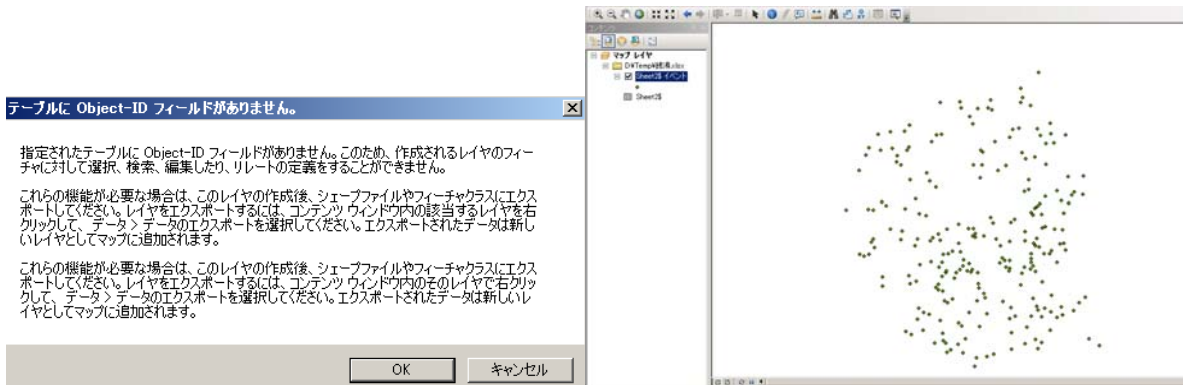


4) テーブルを一度閉じ、[Sheet2\$]上で右クリック、[XYデータの表示]をクリック。[XYデータの表示]が表示されるので、Xフィールドが[lon]、Yフィールドが[lat]であることを確認します。  
[入力座標系]が不明な座標系なので、[編集]をクリック、空間参照プロパティで[選択]、座標系の参照で[日本周辺の地理座標系]→[日本測地系 2000 (JGD 2000) .prj]を選択し、[追加]→[適用]→[OK]をクリックします。

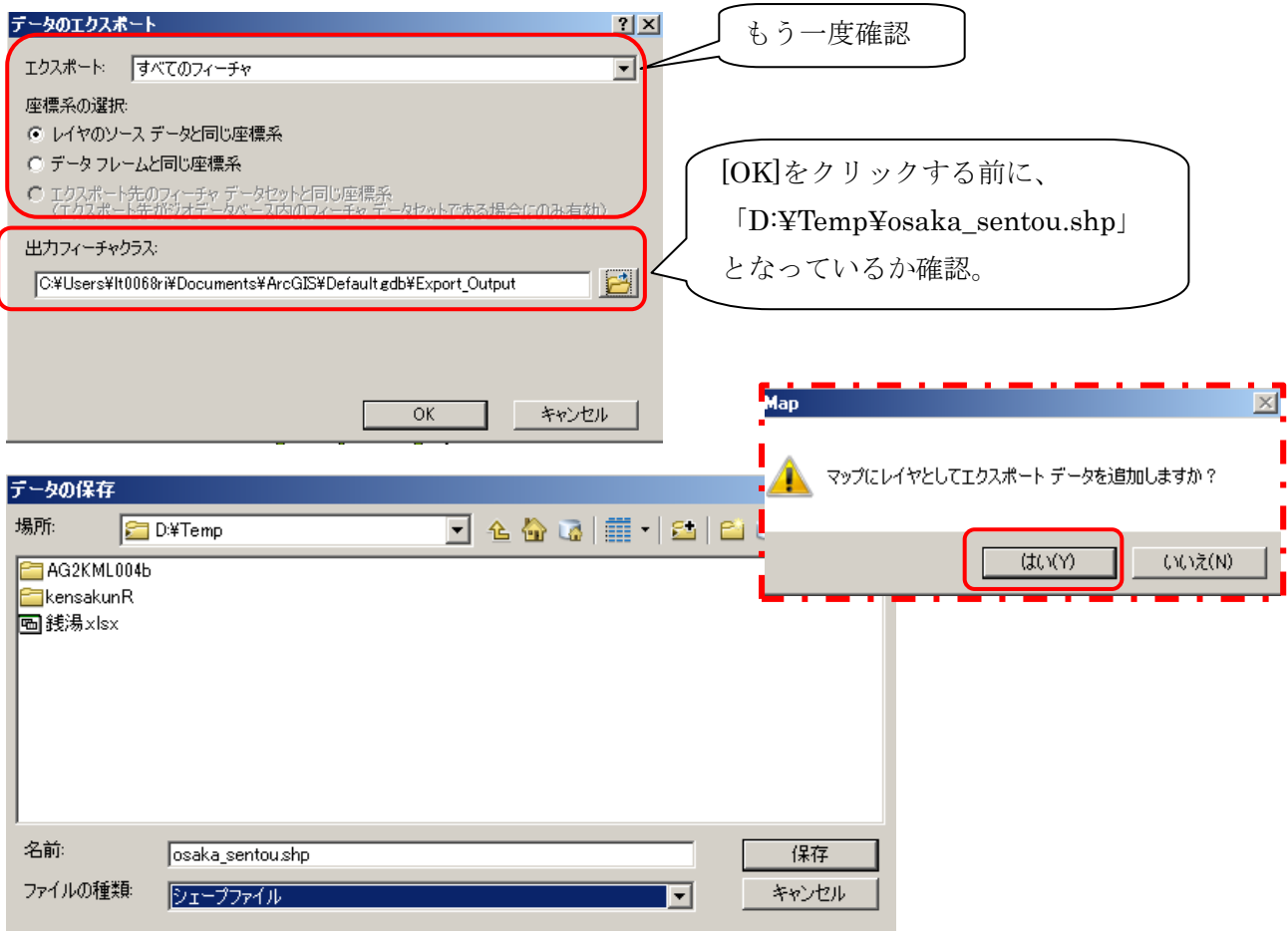


[XY データの表示]上で、lon 、lat、地理座標系を確認し、[OK] をクリック。「テーブルに Object-ID フィールドがありません」と表示されるが、[OK]をクリックします。

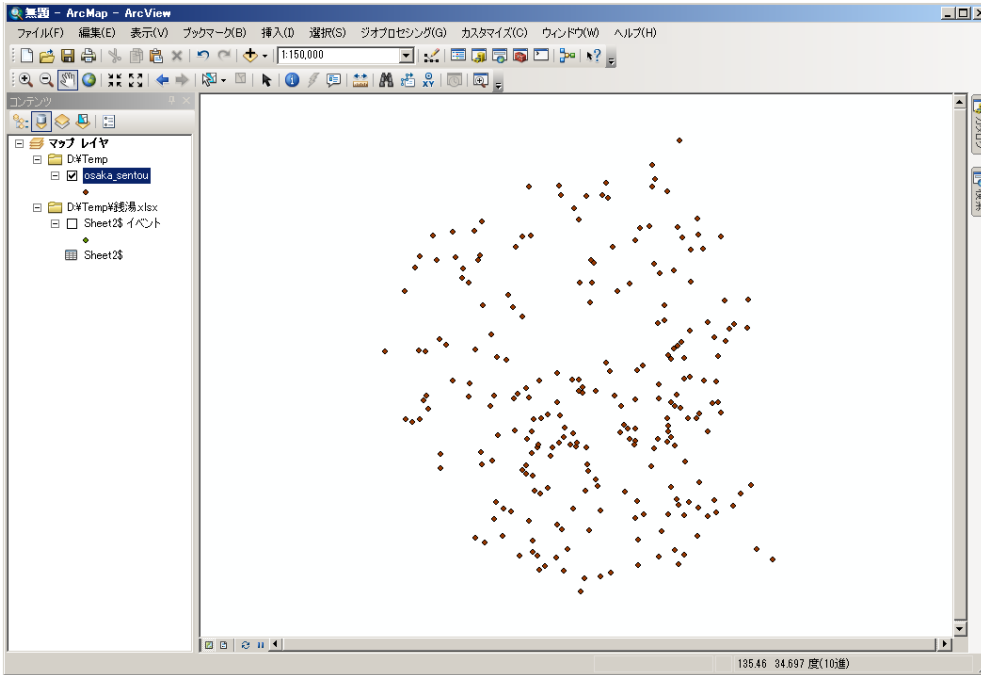
大阪市内の銭湯ポイントデータが出力されます。



5) 次にデータをエクスポートし編集できるようにします。追加されたレイヤ[Sheet2\$]上で右クリック、[データ]→[データのエクスポート]をクリック。次の画面が表示され、エクスポートが[すべてのフィーチャ]、座標系が[レイヤソースと同じ座標系]であることを確認します。出力フィーチャクスはフォルダのアイコンをクリックし、データの保存場所を[Temp]、名前を「osaka\_sentou」と入力、ファイルの種類を[シェープファイル]にし、[保存]をクリックします。出力フィーチャクラスをもう一度確認し、[OK]をクリック。「マップにレイヤとしてエクスポートデータを追加しますか?」と表示されるので[はい]をクリックします。

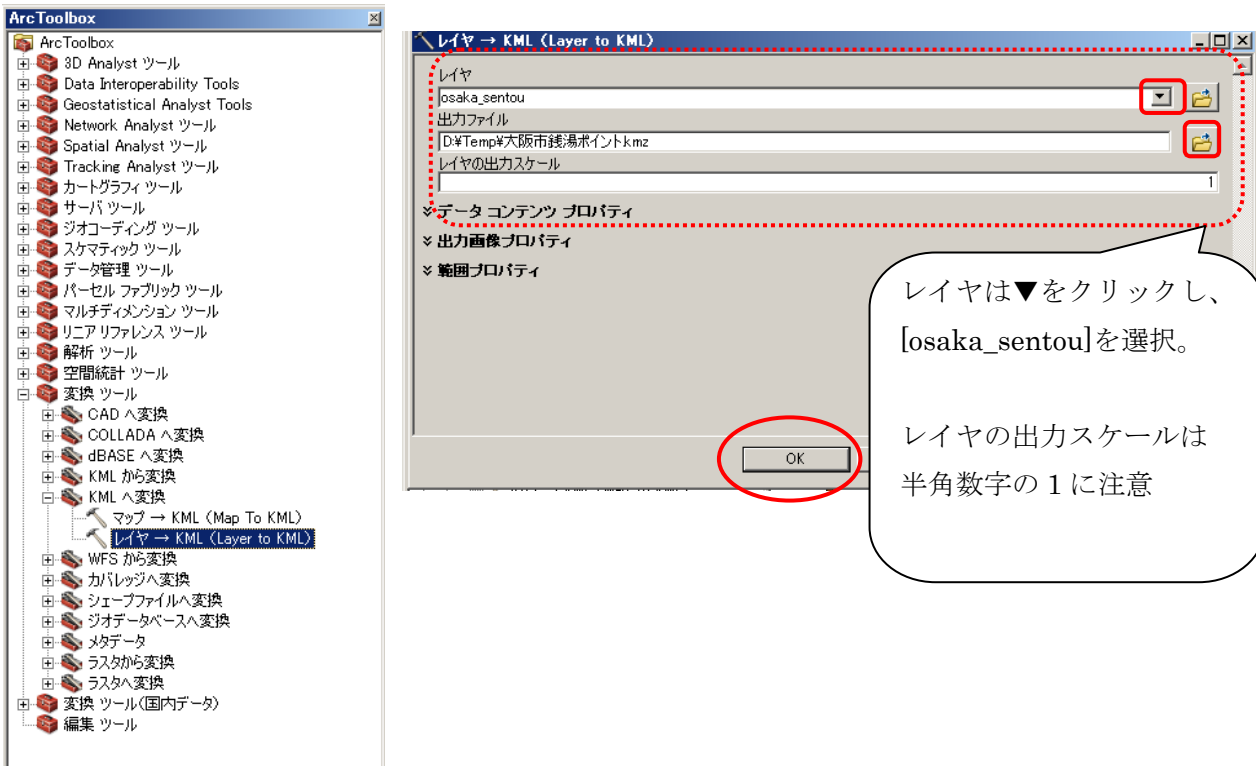


次のようにポイントデータが表示されます。



6) [ArcToolbox]を起動し、[変換ツール]→[KMLへ変換]→[レイヤ→KML(Layer to KML)]をダブルクリックします。

画面が表示されたら、レイヤは[osaka\_sentou]を選択、出力ファイルはフォルダのアイコンをクリックし、保存する場所を[Temp]、名前を「大阪市銭湯ポイント」と入力、出力スケールは半角英数で「1」と入力します。確認できたら[OK]をクリックします。

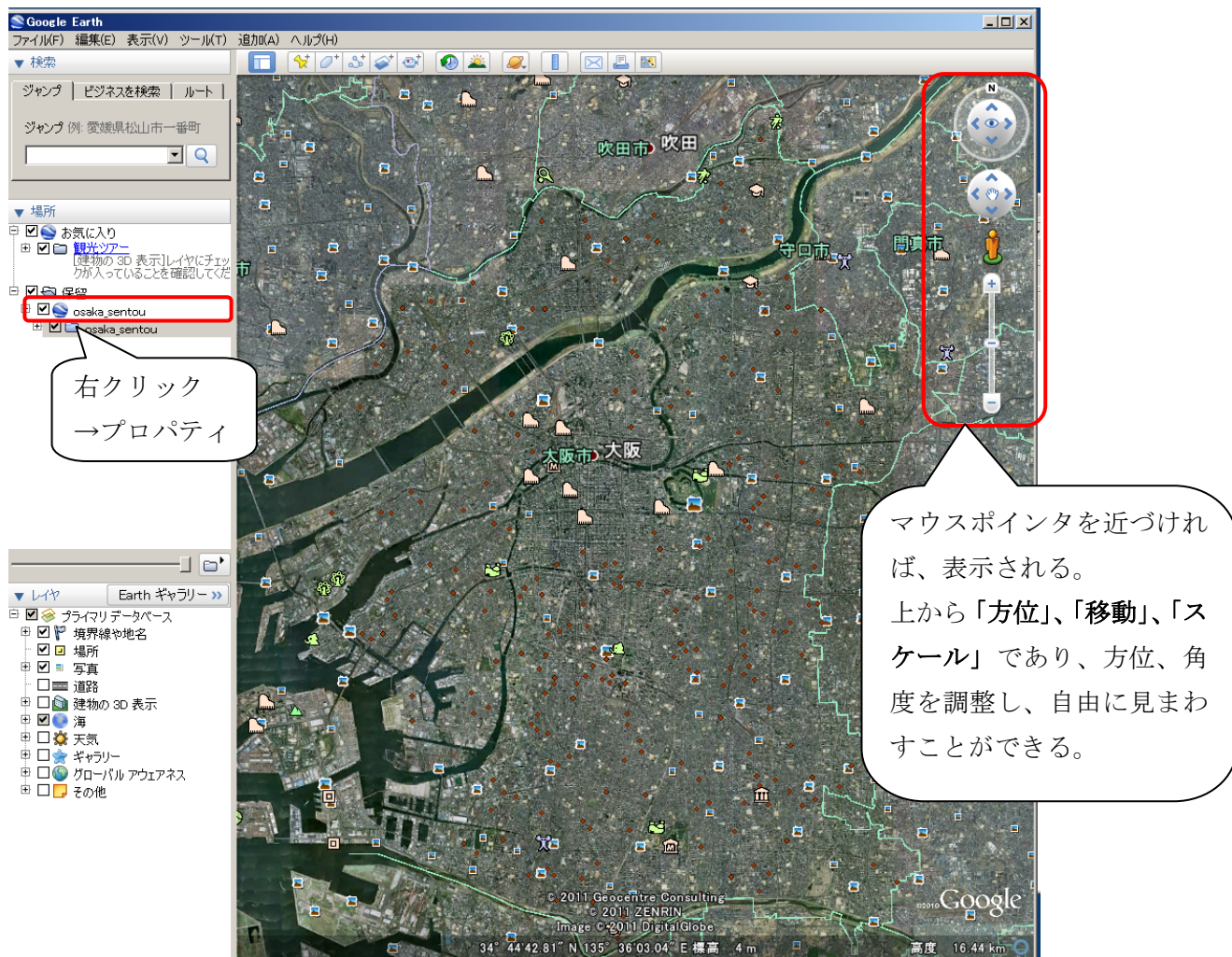


レイヤの変換が終了すると、画面左下に次の表示が出るので確認します。



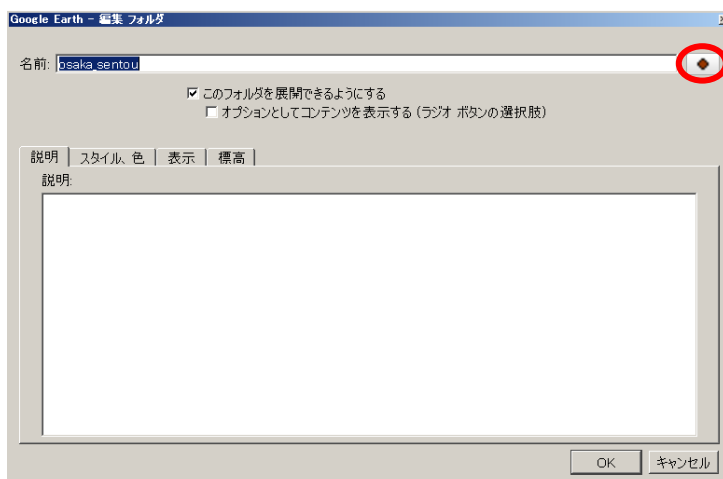
7) [一保存用]→[Temp]に[大阪市銭湯ポイント.kmz]が保存されているか確認します。

次にファイルをダブルクリック、Google Earth™ が起動し、先ほどの銭湯のポイントが表示されます。

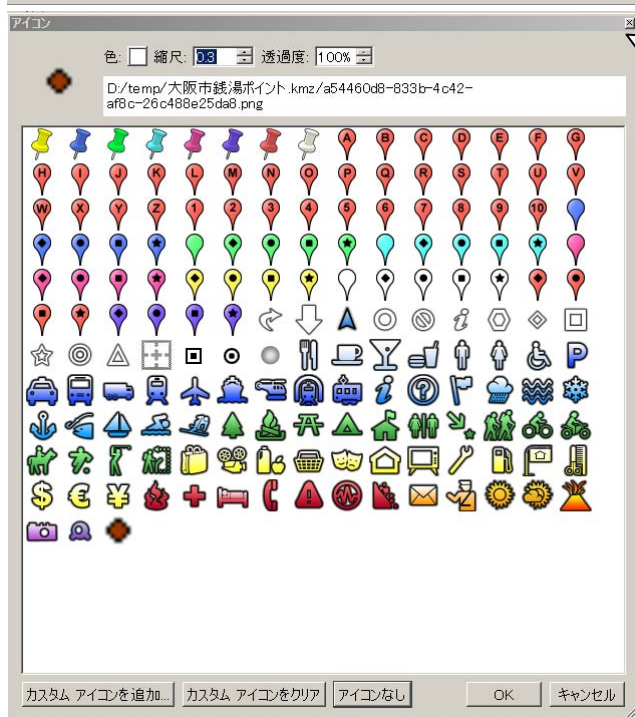


(Copyright)  
© 2011 Geocentre Consulting  
© 2011 ZENRIN  
Image © 2011 DigitalGlobe

ポイントが見えにくいときには、画面右の保留[osaka\_sentou]上で右クリック、プロパティをクリックすると、次の画面が出ます。



ここをクリックすると、アイコンのプロパティが開く。



縮尺でアイコンの大きさ  
透過度でアイコンの透過度  
下の欄でアイコンのデザイン  
を調整できる。



(Copyright)  
 © 2011 ZENRIN  
 © 2011 Geocentre Consulting